

■第70回 河川レンジャー制度運営委員会（2023.11.14）議事録

◆出席：中谷委員、北井委員、平山委員、沼田委員、若公委員

（太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局）

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
1. 開会	△安田	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしましたら、少し定刻前にはなりますけれども、始めさせていただきたいと思います。 ・本日は、お忙しい中、お時間いただきまして、誠にありがとうございます。事務局の安田です。 ・冒頭ちょっと連絡事項だけ。事務所長の若公ですが、本日、前の用事がありまして少し遅れますけれども、途中から参加という形で段取りをしております。どうぞよろしく願いいたします。 ・また、各レンジャーの皆様におかれましては、日頃から精力的にご活動いただき、誠にありがとうございます。 ・今回、年度初めの委員会から5か月たったというところで、それまでの各レンジャー様のご活動内容の中間報告をメインに進めさせていただきたいと思います。その他、委員会の運営に関する事項ですけれども、規約の見直しなどのところも含めて議事を進めていきたいと思っております。本日は長い時間になりますけれども、できるだけスムーズに運営させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。 ・それでは、事務局の中西が司会進行を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・それでは、ただいまより第70回河川レンジャー制度運営委員会を開催させていただきます。 ・本委員会の司会を務めさせていただきます事務局の中西です。 ・本委員会でございますが、若公所長は後ほど来られるということでございますので、委員総数5名のところ、今は4名出席いただいております。委員会規約第8条2項によりまして委員会の成立をご報告いたします。 ・まず、お手元の資料の確認をお願いいたします。配布資料でございますが、議事次第、その下に委員名簿をおつけしております。それから、本資料が資料－1から5番まで、参考資料が1から4番までございます。また、レンジャーさんからの報告の補足資料という形で、パワーポイントの資料など、3種類がございます。以上が本日の資料となっております。 ・ウェブ参加の委員の方におかれましては追加の資料をメールでお送りしておりますが、基本、画面のほうで共有させていただきますので、よろしく願いいたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
2. 委員紹介	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・続きまして、委員のご紹介をさせていただきます。議事次第の次に委員名簿をおつけしております。事務局から皆様をご紹介させていただきます。 ・まず、河川レンジャー制度運営委員会の中谷委員長でございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしく申し上げます。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それから、平山委員でございます。ウェブ参加をされていらっしゃると思います。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・平山です。よろしくお願いいいたします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それから、副委員長の北井委員でございます。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・北井です。申し上げます。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それから、行政関係者ということで沼田委員でございます。
	沼田	<ul style="list-style-type: none"> ・沼田です。よろしく申し上げます。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・あと、本年7月より着任されました若公所長が委員となっております。後ほど紹介させていただきます。 ・また、会場には4名の河川レンジャーの皆様に来ていただいております。福西レンジャーは欠席でございます。 ・本日の議事でございますが、議事次第を見ていただきまして、3番の「報告」、4番の「審議事項」、5番の「その他」ということで執り行いたいと思っております。5時までということで長時間ですが、よろしくお願いいいたします。 ・そうしましたら、これ以降の議事進行を中谷委員長にお願いしたいと思います。中谷委員長、よろしくお願いいいたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (1) 前回委員会の振り返り	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、今もお話がありましたとおり、議事次第に従って進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。 ・まずは報告事項ですね。3点あります。まず1番目、「前回委員会の振り返り」ということで事務局から説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・資料-1「第69回河川レンジャー制度運営委員会議事要旨」ということで、前回の振り返りでございます。この議事要旨は、委員会終了後、皆様に議事録とともに確認いただきまして、「(案)」が取れたものとなっております。簡単に振り返らせていただきます。 ・まず議事としましては、委員長・副委員長の選出、主な審議として河川

		<p>レンジャーの年間活動計画(案)の承認ということでございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果としまして、委員長には中谷委員、副委員長には北井委員が今年度も選出されまして、お願いすることになりました。 ・また、審議事項の河川レンジャーの計画(案)についてですが、この会では5名の年間活動が提案されたわけですが、西島河川レンジャーにつきましては、欠席であったため、承認保留ということになりました。ということで、4名の活動計画について承認され、後日西島レンジャーには承認に向けた調整を進めるということになりました。 ・ページの下の方から、各レンジャーの年間活動計画に対する助言や質問等を書いてございます。 ・最後、5ページに西島レンジャーの年間活動計画(案)に対する様々な質問等を書いておりますが、後日、西島さんにご連絡し、調整しました結果、7月25日に計画案の承認がなされたところでございます。 ・簡単ではございますが、以上が前回委員会の振り返りでございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・ただいま説明がありましたとおり、一応委員の皆様にはお目通しいたできておりますので、議事要旨として確認していただければと思います。5人のレンジャーさんの計画をそれぞれ承認して、それ以降、活動を進めていただいているところですね。 ・今の内容について、委員の皆様から質問とかありますか。先ほども言いましたように一応確認をいただいておりますが、もし何かありましたら、また後でも結構ですので、ご発言いただければ結構かと思ます。 ・では、次へ進めさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (2) 河川レンジャー活動支援室からの報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、報告事項の2番目ですね。活動支援室からの報告ということでお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしましたら、資料-2でございますが、支援室が主に取り組んできました状況についてご報告いたします。 ・まず、「令和5年度の支援室の主なスケジュール」です。前回の委員会では6月14日までのスケジュールをご報告しておりましたが、その後ということで、「制度運営委員会等」という一番左の列に書いてございますように、6月21日に河川レンジャーと河川事務所の意見交換会を開きました。 ・それから、河川レンジャーの研修を7月10日にいたしました。後ほどこの結果について報告いたします。また、河川レンジャーの皆様におかれましては毎月活動されておられて、支援室も個別の支援を行っておる

	<p>わけですけれども、全体に共有するために9月中頃と10月下旬にレンジャーミーティングを開かせていただいております。今後また事務所の皆様との意見交換ですとか河川レンジャーの研修等を予定してございます。</p> <ul style="list-style-type: none">・あと、8月にはレンジャーレポート50号を発行しております。・2ページ目でございます。2番の項目は「河川レンジャーの募集状況」ということで、随時募集をかけてございますが、本委員会までの応募は特になかったという状況です。・それから、「河川レンジャートライアルの募集状況と在籍者」につきまして、こちらも継続して募集をしております。在籍者においては昨年度の5名が変わらず在籍していただいております。今年度は2回ほどトライアルの参加の行事がありました。資料には6月17日に1名と書いておりますが、つい先日の11月11日の秋の野洲川河川清掃にも参加いただいたところ です。・4番が「その他：河川レンジャーへの主な支援」ということで、随時支援をしているということを書いております。・3ページが先ほどの勉強会についての報告になります。今年度1回目の勉強会ということで、主に新しくレンジャーになられた方を対象に、「河川の基礎知識を学ぶ」というテーマで実施いたしました。「河川のルールと利用マナー」「琵琶湖と瀬田川の歴史、瀬田川洗堰の役割」「水辺のリスクマネジメント」といったプログラムで、一通り持ってもらいたい河川に関する知識をご提供して、質問等を受けつけたというようなところでございます。4ページにレンジャーの皆様からの感想を書いております。・5ページは、その勉強会と併せまして、河川レンジャーEボート講習会を開催いたしました。Eボートを使った河川でのアクティビティも活動に取り入れたいと思われている新人のレンジャーさんもいらっしゃいましたので、同日午後の時間帯にEボートの使い方について講習会を実施しております。・6ページに参りまして、7番の項目が河川事務所さんと河川レンジャーさんの意見交換会の開催ということで、簡単な報告を掲載しております。・この意見交換会には、4名のレンジャーさんに参加いただきました。また、河川事務所からは工務課ですとか流域治水課といったふだん関わりが少ない事務所の方も出席いただきまして、河川事務所からは行政でどういう取組をしているのか、河川レンジャーさんからは自分がどんなテーマで取組をしているのか、お互い情報を出し合って共有いただくというものになっております。・それから、あらかじめレンジャーさんから聞きたいテーマを幾つかいただいておりますので、それに従って事務所から情報を提供いただいた
--	---

	<p>り、意見交換をしたりということがございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換のテーマとしましては、1つは、国交省で最近になって出てきた施策として「リバサイト」という河川敷地の規制緩和をしていくというような施策がございまして、河川レンジャーさんにとっても非常に興味のある施策ということもあり、「どんな内容になっているか」「琵琶湖河川事務所はどういうふうに取り組むのか」など、当面の活動とどうマッチしていくかを探るための質問がございました。河川事務所のほうも「今始まったばかりの施策で、社会情勢等を見ながらやっていきたいが、今すぐにはその制度を適用する事例はなさそうだ」というようなことを提供いただき、今後こういう制度とレンジャーさんの活動がマッチするのではないかという希望が持てたような意見交換になっておりました。 ・それから、各レンジャーさんから「瀬田川・野洲川でそれぞれ連携できそうな話題はないか」「実際の活動に沿った情報提供をしていただけないか」ということで、清掃活動であったり、瀬淵事業の状況であったり、防災教育や出前講座の話題というようなところをいろいろお聞きできました。あと、野洲川では、上流に向かった活動をしていきたいという中では、具体的には清掃活動を進めるに当たってどういう展開をしていけそうかというようなことをお聞きしたうえで意見交換ができました。 ・9ページは、レンジャーレポート50号を発行しましたということです。内容的には、根木山レンジャーと水上レンジャーの6月の活動、新しいレンジャーお二人が誕生しましたというような話題を掲載しております。なお、参考資料-1としてレンジャーレポートを添付させていただいております。 ・支援室からは以上でございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、説明ありがとうございました。 ・レンジャーさんの勉強会をはじめ、いろいろ取り組んでいただいておりますが、今のパートに関して委員の皆様から質問等ありましたらお伺いいたしますが、いかがでしょうか。では、今見ていただいている間に私から少しだけ。 ・レンジャーさんは文字どおり「地域とつなぐ」というところですけど、例えば清掃活動にしても、事務所さんが行政として地域に「レンジャーさんのこういう活動がありますよ」みたいな働きかけといいますか、ダイレクトに働きかけるということではなしに、行政の一環として何かそういうところ——今もお話がありましたように、維持管理もそうですし、例えば新しい施策が始まる時には地域に興味を持っていただくということもあるだろうし、防災面にしてもその辺がうまく結びついていくと、レンジャーさんが認知されるところも大きくなっていくというようなことも感じながら聞いておりました。その辺もまたうまく工夫して、支

		<p>援室やレンジャーさんとも連携してやっていただければというふうに思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平山さん、沼田さん、いかがですか。今のパートで何か質問、ご意見等ないでしょうか。 ・はい、平山さん、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページにあります表2のトライアルの在籍者リストですけれども、このトライアルには期限はないのでしょうか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・期限は2年となっております。それで、半年ごとに継続の意向を確認することになっておりまして、今のところ、皆さんに継続の意思を確認しているところでございます。ですので、2年をめどに河川レンジャーに応募していただくとか、トライアルとしての援助ができなくなるというようなご説明をしないといけなくなるのかなと。ルール上はそんなところですよ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・今、在籍している中で進学予定の人はどれぐらいいるのですか。要は、河川レンジャーに応募し得る人はどれぐらいいるのですか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、3名は進学予定ですので、応募し得る方かなと思います。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・もちろん就職お仕事をされても河川レンジャーはできると思うのですが、実情としてなかなか厳しいんじゃないかなと思いますのと、トライアルが2年、レンジャーも同じ任期で2年ということであれば、レンジャーとして活動をする意欲があるのであれば、できるだけ早い段階でレンジャーのほうに応募いただいてもいいんじゃないかと思っております。トライアルからレンジャーに移行するきっかけですとか、そのサポートというのはどういうタイミングでどういうふうにするのかなというのを伺いできればと思います。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーのほうも随時募集はしています。制度運営委員会の開催2週間前までに応募があると、その委員会にかけられるというルールを取り決めていたかと思うのですが、それに向けてトライアルの皆様にご意思の確認ですとか。ただ、2週間前に急に聞くというのもあれですので、あらかじめ早めに確認をしようかと考えております。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャーになったら、例えば活動計画を立てなければいけないとか活動の報告をしなければいけないという、ちょっとトライアルとは違うことが出てくると思うのですが、そういうことは説明されているんですよ。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、既にしております。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・要らぬ心配かもしれないのですが、もしかしてこのトライアルのほうで都合のいいということで続けられていて、今5名もいらっしゃるのに、

		<p>やっぱり駄目でしたというか、レンジャーになりませんでしたということもあり得るかなと思ひまして。その辺がちょっと心配というのと、学生だけじゃなくて、地域の方とか既に瀬田川を利用されている方なども含めてトライアルを呼びかけていったほうがいいのじゃないかなというふうに思ひました。</p>
	△中西	<p>・はい、ありがとうございました。参考にさせていただきたいと思ひます。</p>
	中谷	<p>・平山委員、ありがとうございました。</p> <p>・関連しているような話なのですが、トライアルさんには、レンジャーさんと一緒に活動したりとか、そういうこともやってもらっていると思うんですけど、今の平山委員のお話にもありましたが、そういう面でうまくレンジャーになってもらうとか、何かそういう——言い方が難しいな。熟度的といひますか、その辺のトライアルさんの活動状況といひるのはどんな感じでしょうか。</p>
	△中西	<p>・実を申しますと、今、4回生、3回生とおられて、3回生の方は、どちらかといひると、ボランティアをしたいといひような気持ちでトライアルになられています。昨年度は河川レンジャーの取組を経験していただいて、こゝういふコーディネーター的な仕事をするのだなといひ認識をしていただいたところなのですが、その後はなかなか。少しハードルが高いのか、ボランティア的なものであれば続けられるといひような感想を持たれております。</p> <p>・もうお一方、今年卒業される4回生の男性の方がいらっしやって、河川レンジャーにすごく興味を持たれて。ただ、就職先が大阪府のほうになられて、そこで河川レンジャーを目指してみようかなといひような気持ちを聞かせていただいております。</p>
	中谷	<p>・はい、ありがとうございました。</p> <p>・今、お話を聞いていると、トライアルさん個人の気持ちといひところもあつたようなのですが、平山さんからも話があつたように、広く呼びかけるといひますか、そういうところも大事かなと。まあ、いろいろ瀬田川近辺でも活動してもらっているレンジャーさんもいるので、そういう面では、そういう機会を利用してうまく広がるような仕組みといひますか、工夫といひますか、その辺をまた考えていくといひことも大事だと思ひております。</p> <p>・平山さん、今、事務局からお話がありましたが、そういうことでよろしいですかね。</p>
	平山	<p>・はい、分かりました。よろしくお願ひします。</p>
	中谷	<p>・はい、ありがとうございます。</p> <p>・沼田さん、いかがでしょうか。</p>
	沼田	<p>・第1回の研修会については新しい方を対象にされていると思ひます</p>

		が、次の12月はこういった内容の研修を考えておられるか、教えていただきたいのですが。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・12月は、ベテランの河川レンジャーの皆様にご相談をしながら、こういったテーマがいかを聞いておるところです。特に、地域に入っていくときの方法や、河川レンジャーだけじゃなく、NPO活動とか、もう少し幅広くに地域に貢献する事業や業務等をするときのノウハウを聞きたいという少し難しい希望を伺っているのですが、現在調整中で、講師の方に当たっているところです。 ・以上でございます。
	沼田	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・今のような内容であれば、もう少し早い段階から。活動される前にそういう講習会というか、早めにそういった研修の前倒しというのは考えられないのでしょうかね。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。12月ということだと、次年度を見据えたような形になってしまいますので、できることならもう少し早めがよかったかもしれませんが、ほかのバランスも考えまして、そのような時期にしております。
	沼田	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, O印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
3. 報告 (3) 河川レンジャー中間活動報告	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・では、次はレンジャーさんの中間活動報告に入らせてもらいます。進め方について説明をいただけますか。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は3をご覧ください。また、河川レンジャーの各発表につきましては補足資料も使いながら発表されると思いますので、お手元にある方はそちらも見ていただきながらということになるかと思います。 ・資料-3は、5名のレンジャーの中間活動報告書となっております。年間活動計画時に立てられました目標や具体的な内容を書いてございまして、各レンジャーさんの表の太枠のところ、例えば1ページですと、右下に黒い太枠で囲っているところがあるかと思います。こちらに河川レンジャーの皆様当初の計画に対してどういうことができたかを記載していただいております。また、自己評価としましてAからFまでありますが、Aは最も達成できている、Fはまだ達成できていないというようなところで自己評価をいただいているものです。そして、各レンジャーさんの報告の最後のページには工程表をつけていただいております。当初の工程と今回の実績、それから今後変更要素があるかというようなところで記載いただいております。この辺りを基本として見ていただきな

		<p>がら、レンジャーさんの活動報告を聞いていただきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各レンジャーさんからの報告としまして、時間も限られておりますので、活動報告を10分、質疑応答時間を5分ということで、15分の持ち時間でお願ひしたいと思っております。報告の10分のうち、9分が来ましたら1鈴を事務所のほうで鳴らします。また、15分が来ましたら2鈴鳴らします。それらを目安に終わっていただきたいと思ひます。 ・そうしましたら、福西レンジャーは欠席ですので、根木山レンジャー、水上レンジャー、西島レンジャー、野村レンジャーの順で報告をさせていただきます。 ・では、中谷委員長、進行をまたよろしくお願ひします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、説明ありがとうございました。 ・では、早速レンジャーさんから報告をいただきます。今お話しのお順番でよろしくお願ひします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様、こんにちは。河川レンジャーの根木山です。よろしくお願ひします。 ・まず、2つお断りがあります。まず、この表紙だけ変えるのを忘れてしまつて、中間報告です。日付も11月14日に訂正したいと思ひます。すいません。 ・あと、活動報告が7・8・9・10月とちょっと遅れておりました、申し訳ありませんでした。先週末に7・8・9月に関しては事務局に提出させていただきますので、また見ていただけましたらと思ひます。一応活動のほうは何とかやっております、ちょっと報告書の作成が追いつかなくて、大変失礼いたしました。今後気をつけたいと思ひます。10月のほうも早々に作つて提出させていただきたいと思っております。 ・それでは、今年度の中間活動報告をさせていただきます。 ・今年度も引き続き「野洲川の川守をつなぐ」ということで、11年目、同じテーマで取り組ませていただいておりますが、新しい取組として、今まで下流の中洲地区を重点的に活動してきたのですが、今年度からは上流のほうにも活動のフィールドを広げていこうということでさせていただきます。 ・成果目標としては3点挙げておりました、中洲地区での取組も一応継続させていただきます。それが1点目の成果目標にさせていただきます。今回の中間報告は、主にそちらの報告になると思ひます。上流に足を延ばすということに関しては今後下半期で取り組んでいきたいと思っておりますので、今日はそんなに報告はない状況になっております。3点目には、もし新しい河川レンジャーの方の支援が必要ならサポートしますよという内容で挙げていたのですがけれども、昨年度末に

河川レンジャーに応募いただいた、私のつながりのある方なのですが、今年度に入っているいろいろお子さんの状況もあって、河川レンジャーへのチャレンジは一旦見合わせたいということでおっしゃってられます。ただ、今後、野洲小学校での学習に協力していただきたい、という形でつながりは続けながら、またタイミングを見てお声がけできたらなと思っております。そのため、成果目標の3つ目に挙げたところに関しても上半期に関しては特に報告はないような状況になっております。

- ですので、今日の報告は主に成果目標の1で、従来、中洲地区下流部でやってきたことの継続の中で、もう11年目になりますので、ある意味、収穫の時期なのかなというところで幾つか「こういったいいことがありましたよ」ということをご報告できたらなと思っております。
- まず1つ目は、かわまちづくりで河川管理者と守山市に整備いただいたフィールドで住民活動の支援をしています。今年度も住民グループの活動支援と中洲こども園の川遊びの支援をさせていただいております。あと、活動の見える化ということで、いろんな方々に野洲川で活動していただいているので、それを見える化（動画を作る）ということにも取り組ませていただいております。
- ただ、活動の見える化のほうは、協力していただける中高生の手配というか、体制はできて準備は進めていたのですが、夏場はいろいろな活動が混み合ってしまったのと、高温の中で活動するとき、ちょっと体調を崩す中高生が現れたりしたので、夏場は一旦見合わせて、また秋以降に進めたいと思っております。
- 住民グループの活動のほうは非常に順調に今年度活動させていただいておりまして、特に昨年度は天候で実施できなかった川遊びオープンデーという夏休みの活動が今年度は2回実施することができて、住民グループのメンバー以外の一般の住民の方にたくさん参加いただくことができました。
- また、中洲こども園の川遊びも今年度初めて5歳児による川遊びを2回実施することができました。園としても、1回だけだと子供たちの発達面で物足りなさがあるので、できれば2回やりたいのだとおっしゃられていて、それが初めて実現したということで喜んでおります。
- あと、これは予期してなかった部分でもあるのですが、この9月から10月に、中洲学区の学区長から、来年度、野洲川中洲親水公園で学区民のつどいというのをやりたいのだというご連絡をいただきました。この間も河川清掃活動にいらっしやっていて、関係者の皆さんに「来年はやるからな」とおっしゃられていたので、多分やるのだと思います。僕のほうからも、こんなことができたらいいのじゃないですかという提案を10月にさせていただいております。

- ・写真はこんな感じですね。川遊びオープンデーは2回実施させていただいて、従来は紙のチラシを配布するという宣伝方法をとっていたのですが、今年度から新しい取組としてSNSを使った広告というのもさせていただいて、それで割と一般の参加者がぐっと増えたのかなというふうに感じております。
- ・あと、初めて来られる方も多かったので、遊び終わった後、満足した感じの中で、「ここって、こういうふうに使っていいのですか」という質問を何人かの方から受けました。やっぱり、こうやって川に入って遊ぶということが禁止されているかのような印象を持たれている方が多いのだと思います。こういう機会を通して「あっ、こういうふうに遊んでいいのだ」というのと、ふだんも使っているのかということと疑問を持たれて質問されて、当然河川は自由使用なので、もちろんご自身で安全管理していただくということと、あと迷惑行為のないようにということとは気をつけていただいた上で、自由に使っていただくために整備されていますよということを何人かの方にお伝えさせていただきました。こういう機会がきっかけになってふだんの自由使用が広がるといいなというふうに感じました。
- ・中洲こども園の川遊びも、先ほどお伝えしたように、先生向けの講習会に加えて5歳児による川遊びを2回実施することができました。
- ・これは園の職員の方と保護者の方に答えてもらっているアンケートですが、やっぱり2回することで子供たちの姿が変わると。1回目は恐る恐るだったけど、2回目は楽しみ方を知っているので「こんなことをしてやろう、あんなことをしてやろう」みたいな形で子供たちの姿に変化があって、園の教育活動としてもすごくよかったというような先生の意見ですとか、保護者の方からも「安全管理をちゃんとしていただいているのが分かったので、安心してできてよかった」みたいな意見をいただいて、いい感じできているなというふうに感じております。
- ・あと、住民グループの方に水上さんの河川清掃活動に参加するように声かけさせていただいて、先週も参加してくださいました。この後、住民グループの方には冬場に幼木伐採をしてもらおうと思っております。
- ・地元の守山市との情報交換も、清掃活動の場で必ず顔を合わせるのでお話しさせていただいて、この間の土曜日にも担当の係長に、以前ここでの意見交換会をもとに案内表示板の消してもらったところが今むき出しになっていて元に戻っているの、これをもう一回直してくださいというのを現場でお伝えして、うまく伝えられてよかったかなと思っています。また、来年度、中洲学区の学区民のつどいをするに当たっている支援の要請みたいなのが地元からも出てくると思うので、その辺もうまくつなぎ役になっていけたらいいなというふうに思っています。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼木の状況ですけれども、結構成長してきていまして、今年は切りがいがあるなど。この間、清掃活動のときに、ヘルメットをかぶってしっかり安全管理して切りたいなということをお子たちとも確認しました。あと、今、稲荷大橋の上流側のしゅんせつが行われた関係で川の流れが変わっていきまして、新しい砂州が形成されています。今までは割とこの写真にあるような大きな木とかに近づきにくかったのですが、砂州ですっと入れるので、木があるところまで近づきやすくなったので、今年は頑張って木が切れそうだなというようなことも起きています。 ・ 上部部に関しては、今後しっかり活動していきたいと思っております。 ・ 今年度も、3回目になりますが、上流側に位置する野洲小学校で野洲川学習に呼ばれました。 ・ 場所的にはこんな感じですかね。特に、栗東市、野洲市で活動できたらなど。階段状護岸がある栗東市の河川公園がありますので、まずはその辺りから活動を企画して、住民の方や関係機関に働きかけしていきたいと思っております。 ・ 以上になります。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告ありがとうございました。 ・ ただいま報告いただきましたが、質問、ご意見等ありましたら、どなたからでも結構ですので、どうぞご発言ください。 ・ はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご発表ありがとうございました。 ・ どこの話か忘れてしまったのですが、参加者の方から子供をちゃんと見てもらって安心しましたという声があったとおっしゃっていたのがちょっと気になって。イメージとして、子供が遊んでいて、お母さんたちはその辺で見ているのですが、安全のことを見ているのは基本的にスタッフとか根木山さんなのですか。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多分誤解で、中洲こども園でのアンケートの結果で、保護者の方も見守りのボランティアとして現場に来ていただいたのですが、こども園での活動なので、一義的にはこども園の教職員の方が子供の安全管理をされていると。そういう構成の中での保護者からの声です。住民グループの川遊びとは違うものです。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりました。 ・ ほかの活動でも川遊びをするものがいろいろあると思うのですが、それも大人みんなで子供を見るという感じでいいのですよね。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい。こんな感じで、子供がいないフリーの大人3人に手伝ってもらっているのですが、これだけの人数なので3人とか僕だけでは見られないということで、いつも遊んでいる住民メンバーの方が10組ぐらいいて、さらに初めて来る一般住民の方がいらっしゃるので、初めに「ライフジ

		<p>ジャケットをちゃんと着てくださいね」とか、今回は遊泳エリアもロープで仕切ってやったので、その中で各自で見てもらうと。あと、特にいつも遊んでいる住民メンバーの方にも「今日は一般の方もいらっしゃるの、自分の子供だけじゃなくて、他の子も危なかったら、飛び越えてもいいから注意してくださいね」と事前に声かけして、安全管理をみんなのできるように意識しています。</p>
平山		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。根木山さんは、コーディネーターというか、支援をメインとするのじゃなくて、地域の方の中で見守りと遊びが成り立っているといいなと思ったので、そうであればいいと思います。ありがとうございます。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにいかがでしょうか。 ・はい、北井委員、どうぞ。
北井		<ul style="list-style-type: none"> ・活動については順調に楽しげな風景が増えてきて、野洲川を活用しているような遊び方や利活用が増えてきたなど。10年やっていらっしゃる素地があって、すごいことだなと思いつつ拝見していました。 ・活動報告書について冒頭おっしゃられたのですが、出てないなというのはちょっと気になっていたので一応質問で伺っておこうと思います。多分、密に連絡も取られていると思うのですが、出てない状況でも事務局は活動状況を把握でき、連絡をされている状況なのかどうかだけ確認をお願いします。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・支援していただかないと、なかなかままならないので。報告書は出せてないのですが、活動のたびに支援は要請しているので、その連絡はさせていただいています。
北井		<ul style="list-style-type: none"> ・動きは分かっていると。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・はい。申し訳ないです。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・はい、沼田委員、どうぞ。
沼田		<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど今後伐採する幼木の写真を見せていただいたのですが、そこそこ大きい木なので、切った後、薪とか、何か有効に使えるような気がするのですが、切った木はどうされるのでしょうか。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・もう何年も住民の方に取り組んでいただいているので、一応切った木は1年ぐらい保管して、次の年の冬に暖を取るためのたき火などに河川敷で使用させていただいています。
沼田		<ul style="list-style-type: none"> ・有効利用されているということですね。
R根木山		<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
沼田		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ありがとうございます。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。 ・若公委員、よろしいですか。

	若公	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃあ、1ついいですか。 ・遅れてまいりました、7月から琵琶湖河川事務所長をしています若公と申します。どうぞよろしくお願ひします。 ・根木山さんの活動は1度参加させていただいて、非常に子供たちが楽しく遊んでいるのが印象的だなお願ひしております。 ・説明の中であった、まさに「ここ、遊んでいいのですか」というのが非常に僕も共感をするとおころというか。ちょっと川サミットでお話したのですが、僕も、全川泳いでみたのですが、やっぱり「泳いでいいのですか」という質問を瀬田川でされたことがありまして、河川管理者ながら不安になってしまったというのもあったので、こういう質問が徐々に出不いというか、誰かが遊んでいると混じりたくなるみたいな、そういうところの——まあ、取っかかりが難しいと思うのですが、そういうきっかけをつくっていただいているということで非常にありがたいなとお願ひしています。 ・質問というか、もしかしたらもう説明されたのかもしれませんが、上流部での今後の取組について、まずはいろんな方とコミュニケーションしながらということだったのですが、根木山さんのイメージで構わないので、「こんなことができたらいいな」とお願ひいらっしゃることがもしあれば教えていただければお願ひします。よろしくお願ひします。
	R根木山	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・河川事務所との意見交換会の中で、これまでに生き物の調査を環境係のほうでされていて、ビワマスの遡上なんかモニタリングできているよという情報なんかもいただいている、昨年度だったと思うのですが、産卵床の耕しみみたいなことも住民参加でもらえたらうれしいというようなことを担当の職員の方から聞いていたりするので、そういうことにつながるような住民のつながりがもし出てくれば、直接そういうところに行けるのかなとお願ひします。住民の方に出会っていく中で、住民の方の関心もあると思うので、こっちであんまりリードしてもよくないかなとはお願ひしているのですが、そんなことをお願ひしております。
	若公	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ありがとうございます。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・根木山さん、ありがとうございます。 ・では、続きまして、水上さん、お願ひします。
	R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーの水上です。どうぞよろしくお願ひします。 ・私のほうは、資料-3の7ページからです。画面にも同じものが映ると思いますが、この資料に基づいて説明をさせていただきます。 ・最初に、背景と実施目的は変わっていません。テーマは、一番上に書いてありますが、「住民と行政がともに考える川づくり」ということで、住民と行政が一緒にやりましょうというテーマでやっています。

- ・ 7ページ一番下の今年度の成果目標ですけど、幾つかありまして、1つは野洲川河川清掃。これは環境保全ということで考えております。これは2017年からやってきて、ちょうど6年目になります。特に今年度は、最終的には住民主体の川づくりを目指して企画の段階からやるということで考えています。
- ・ 評価のところになりますけども、住民主体の川づくりを目指してやってきて、特に今年度は企画の段階からレイマック株式会社の方、つまり企業の方にうまく協力してもらおうということで考えまして、会社のボランティア委員会の方に参加していただいて、その中でいろいろ議論していただきました。
- ・ もう一つは、今年度もですけど、地元住民の方々にぜひ入っていただくということで、参加していただくためのポスターを作って、30個近くある掲示板に全部貼り出してもらおうという協力をしていただいています。そのために自治会の掲示板を全て確認して、どういうところにあるか、効果があるかということも含めて事前調査をしました。
- ・ 2番目は「樹木再繁茂対策（野洲川の水害から地域を守る）（防災）」ということで、先ほど根本山さんのところで見てもらいましたが、物すごく大きくなって大変ですので、もう少し枝葉が枯れて作業が楽になるように冬場の3月に実施することを今検討しています。
- ・ あと、中洲親水公園の利用促進。これは、3日ほど前ですけども、11月11日に私のメインの活動である野洲川河川清掃と、その第2部で防災イベントをやりました。こちらは次回パワーポイントで説明させていただこうと思っておりますので、今回はこの資料で順次説明させていただきます。
- ・ あと、住民の声を聴くということにつきましても、ここには野洲川河川清掃の参加者にヒアリングを行う予定と書いてありますが、これを作った時点が11月11日の前でしたので、今はアンケートを回収してまとめている段階です。
- ・ 中上流の件につきましては、現地調査をしまして、毎年参加してもらっている人だけでなく、下流のほうで参加してもらう人に上流にも来てくれないかという話を、特にレイマックさんに言ったら快諾していただいて、それを今進めている状況です。そこを詳しく書いているのが次の9(10?)ページです。
- ・ 今のところ、清掃活動のほうはB、あとは全部C評価という形で中間的には評価しています。
- ・ 「活動内容の計画と途中経過」ということで詳しく言いますと、河川清掃を6月17日にやりました。参加者は約50名で、企業の方と地域住民、それから行政とつなぐということで琵琶湖河川事務所と守山市。この場合はちょっと小規模で、野洲川河川清掃だけ実施しています。

- ・ 2 番目。これは先週終わったところですが、ちょっと規模を大きくして、力を入れてやっています。参加者は100名を予定していましたが、実際は70名ぐらいでした。ここには綾羽株式会社さんを書いていますけど、今回は不参加でした。あと、なかす野洲川たんけん隊。これは根木山さんとの関連ですね。そして、立命館守山中学校、地域住民。会長さんたちにも来ていただきました。それから、琵琶湖河川事務所と守山市ということで、河川事務所の職員の方と委員の若公所長、守山市長にも来ていただいています。
- ・ 清掃の実施範囲は、天満大橋から稲荷大橋の間の2キロぐらいです。根木山さんと同じく中洲親水公園のところですが、全然テーマは違うのですが、そこで上下流の清掃活動をしました。
- ・ それと、防災かまどによる非常炊き出し体験ということで、防災かまどの製作と火おこしの体験。火おこしはチャッカマンとかでするのではなく、摩擦や火打ち石でおこす原始的な方法を体験していただきました。これは大変好評で、みんなに楽しくやってもらいました。この目的は、単純にかまどの炊き出しでなく、今、全国的に異常気象ですので、想定外の災害が起こったときにどうしたらいいかと。国交省だけでは限界があるということで、避難場所へ行ったときにどうやったら食をとれるかという体験をきちんと説明しながらやってもらいました。
- ・ あと、樹木再繁茂対策は先ほど言ったことと同じになりますので、省略させていただきます。
- ・ その次に、中上流はどうしたかということ、オムロンと琵琶湖河川事務所が樹木再繁茂対策の関係で幼木伐採をやる予定ということで、その辺のヒアリングをさせていただいて、行政と住民をうまくつなぐことができなにかという話をさせていただきました。結果的には、今始まったばかりですので、来年河川清掃に切り替えることについては今年の幼木伐採が終わってから調整をしてはどうかというご意見を事務所からいただいています。
- ・ そのためどうするかということで、現地調査をして、活動計画の概要版の検討を今行っているところです。現地調査の状況については月間の報告で常時報告させていただいていますので、そちらを見ていただいたら分かると思います。
- ・ もう一つは、野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査をやりました。私が活動を始めたのはここからなのですが、それがずっと進んできて、ほぼ行政と住民の方（中学生）をつなげたのでそこは一旦バトンタッチしていたのですが、担当が替わられて、つないでくれないかという話がありました。野洲川河口部のヨシ帯モニタリング調査はあくまで行政が主催で、私のほうはつなぎ、まさに行政とつなぐというところだけをし

	<p>ました。企画は少しお手伝いしましたが、それを現地でやっていただきました。これが河川レンジャーの最終的な形かなと思ってやっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あとは「活動対象に対する関係づくりの途中経過」ということで、企業のところは、先ほど言いましたように、地域住民主体の活動に向けてボランティア委員会を立ち上げられているので、そこからうまく協議会に行けばいいかなというもろみを考えています。 ・それから、地域住民のところは、先ほど言いましたように、チラシやポスターの掲示をやったのですが、11月11日の河川清掃では、問合せはありましたけども、結果的に地域住民の参加はなかったものですから、今後どう広報していくかを考えていけないと思っています。 ・立命館守山中学校は、新1年生の方と連携できたので、新しい子供たちの目線で「野洲川をどう考えているか」とか「この活動をどう思っているか」というアンケートもとっています。これは今まとめていますので、次回報告させていただきます。 ・行政につきましては、ごみの処分とか、そういうところの支援をさせていただいています。また、琵琶湖河川事務所が主催で行う野洲川河口部ヨシ帯モニタリング調査についてつないだというところですね。それが「活動対象に対する関係づくりの途中経過」です。 ・以上で私の説明を終わらせていただきます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・水上さん、ありがとうございました。 ・ただいまの発表について、質問、ご意見等お伺いします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員、どうぞ。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・中間の報告、ありがとうございました。 ・11日のものは最終報告のときにしっかりということですね。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。一番メインの部分ですので、最終報告のときにパワーポイントを使ってきっちり説明させていただきます。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・レイマック株式会社のボランティア委員会さんというのが新たに出てきたのかなと思っているのですが、この働きかけによって組織されたとか、そういう動きが上半期にあったのでしょうか。
R水上	<ul style="list-style-type: none"> ・ではないのです。実は、レイマックさんは、野洲川河川清掃のときに挨拶していただいたのですが、20年前ぐらいからやっておられると。ただ、最近では地域のCSR活動というのがあるから、何年前からかは知らないのですが、そういう委員会で検討されていると。それで、課長クラスの方が私の対応をされていて、そういう企画はどうですかと話したときにそのボランティア委員会の中で企画も含めて一回検討しますということで、今年初めてそういう声かけをしていただいたのです。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで部署としてはあったけども、具体的にこの野洲川清掃の活動では

		名前が挙がったり、主体になったりしてなかったのがちょっと主体的に関わってくださるようになってきたという理解でいいですか。
R水上		・というような雰囲気でしたね。まだちょっとあれですけどね。
北井		・まだもうちょっと手探り。
R水上		・はい。詳しくはまた次回説明させていただきますが、2部はどうしますかということボランティア委員会で企画も検討していただいて、その意見を反映させていただきます。
北井		・ありがとうございます。
中谷		・ほかの委員さん、いかがでしょうか。 ・はい、沼田委員、どうぞ。
沼田		・ちょっと先ほどの関係と重なるところがありますけど、企業の参加が結構ありますので——県も、草刈りとか、できるだけ企業の協力を得られるように進めているのですが、なかなかうまくいかないところがありまして、オムロンさんや、今回綾羽さんは参加できなかったみたいですけども、こういった多くの企業さんに参加していただけるために何か工夫や努力されていること等、参考になることがあれば教えていただきたいと思います。よろしくお願いします。
R水上		・まずレイマックさんとは、根木山レンジャーが最初に地域に行かれて、こういう企業があるということを紹介していただきました。その後、メールではなく、訪問して、顔と顔を突き合わせて詳しく説明させていただいて、そのときに社長から地域貢献ということを聞いて、これはいけるということでした。 ・もう一つ、綾羽さんは地域との研修をしたいということでしたので、研修の中に私どものところをフィールドとして組み込まれたらどうですかと。それもメールでなく、直接訪ねて担当の方とやりました。ただ、3年で終わりました。さすがに同じ研修はできないということで、今年なくなったというのはそういうところですね。 ・だから、企業のところに行くのは偶然というところもありますし、もう一つ参考に言いますと、滋賀銀行にも電話したのですが、既にやっているからということで断られたのも事実です。なので、企業はなかなか難しいのですが、ちゃんと訪問して詳しく説明して。ただ、向こうのウインがないと、なかなかやってくれないということで、そういうのを考えて、工夫してやりました。
沼田		・ありがとうございます。参考になりました。
中谷		・ほかにいかがでしょうか。・・・では、中谷からちょっと。 ・今、企業さんの話が出ていましたけど、企業さんと地域住民さんとの接点をうまく大きくしていくみたいな、「住民さんがいるから企業も逃げてはいかん」というふうになっていかんかなとか思ったりしてい

		<p>るのですけど。</p>
R 水上		<ul style="list-style-type: none"> それは物すごく難しいのですけどね。確かに、レイマックさんだと、社長さんが地域貢献をされていて、野洲川河川清掃だけでなく、小学生の会社見学とか、いろんな活動をされていますので、そういうのに組み込んでいくというのもあるかもしれません。ただ、今回の防災かまどづくりでは、材料や食料を用意されて、一緒になってやるということで地域の方と溶け込んだ形になったと。なおかつ、防災というところでは地域と一緒にやらないかんから、私は「みんなでやってください」と。そういう取組になったかなと思っています。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> はい、ありがとうございます。 ほかにないようでしたら次に進めさせていただきますが、よろしいですか。 水上さん、ありがとうございました。 では、西島さん、よろしく申し上げます。
R 西島		<ul style="list-style-type: none"> 改めまして、西島でございます。今日はよろしく申し上げます。 最初に、私、仕事の都合上、今年6月の委員会に出席することができず、いろんな方にご迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。すいませんでした。 では、これから報告させていただきたいと思います。 私は、『また来なくなる瀬田川』を目指して」という大きなテーマの中、3つのビジョンを持って今年度活動をさせていただいています。まず1つ目が「安全で綺麗な瀬田川」、そして「瀬田川の有効活用を目指す為の情報収集」、3つ目が『瀬田川に行ってみよう』と思える様なイベントの開催を模索」です。 これまでの達成度というところで、まず1つ目の安全で綺麗な瀬田川を目指すところに関しては、初めての清掃活動だったのですけども、10月14日に唐橋エリアを中心とした清掃活動を実施いたしまして、トラブルやけがなく無事に終えられたということでB評価とさせていただいております。当日はTwitterを活用しまして16名の方にご参加いただき、河川清掃を実施することができました。 ちょっと順番が前後するのですが、お手元の、一番上にアンケートがついている資料の2枚目から、当日の写真や事前に作成したチラシ等を掲載させていただいております。 続きまして、2つ目の「瀬田川の有効活用を目指す為の情報収集」は、実際に私が瀬田川に足を運んで、利用者の方とコミュニケーションを取って情報をどんどん吸収していくということを目的として活動しております。これも資料が前後するのですが、表紙にあります「瀬田川アンケート」というものを作成いたしまして、利用者の方にお声かけをさせ

	<p>ていただいてアンケートを取っていくというような形で訪問をしており ました。</p> <ul style="list-style-type: none">・こちらに関しては、D評価とさせていただいております。理由なのです けれども、瀬田川を歩きまして、実際アンケートに記入していただける 方が少ないというのが正直ございました。お話はいろいろさせていただ けるのですけれども、なかなか記入まではハードルが高く、難しいところ がありまして、どうしても私がヒアリングをしながら自分で記入してい くというような結果となるが多かったので、D評価としております。・また、特に夏場なのですけれども、利用者の方とコミュニケーションを取 れる機会がかなり減ってしまうというところもありますので、今後は、 より多くの方とコミュニケーションが取れるように、時間等を考えた活 動をしていきたいと思っております。・3つ目の「瀬田川に行ってみよう」と思えるようなイベントの開催に関 してはE評価というちょっと悪い状況なのですけれども、コネクションづ くりの一環といたしまして水辺の匠への参加ですとか、あとマザーレイ クアトラクションというイベント。こちらは9月23日にランチ大津京 で行われたイベントなのですけれども、こちらへの出展を行うことができ ました。当日は、釣り人と地域をつなぐ目標を持った企業さんや団体と つながることはできたのですけれども、実際イベントを開催したいと考 えていただけるようなところとの接点はなかなか持てなかったのが、E評 価としております。・そして、「当初想定していなかった成果があれば記載」というところでは、 マザーレイクアトラクションへの出展ができた。当初は計画してなか ったのですけれども、調整をとりながら大きなイベントに出展するこ とができました。実際、河川レンジャー西島という形でブース出展を行 いました。資料の背表紙になるのですけれども、当日は168名の方に西島のブ ースにお越しいただきまして、10月に行われた清掃活動の募集を行うこ とができました。・「これまでの活動の中で、自ら評価できる点などを記載」というところに 関しましては、10月の清掃活動に関して、場所の選定や下見をしっかり 行うことができました。また、ごみの処理に関しても緑地公園課の方や 北部クリーンセンターの方とうまく連携を取り合って、スムーズに清掃 活動を行うことができたと考えております。・続きまして、途中経過です。先ほどからお話に出ているのですけれども、 10月14日、唐橋エリアにて清掃活動を実施しました。16名の参加で、30 リッターのごみ袋約17袋分の結果となりました。そのとき、終わってか らご意見を書いていただきまして、こちらも別添の資料になるのですけ ども、「皆さんと一緒に活動できて楽しかった！」とか「綺麗な状態が継
--	--

		<p>続する事を願います」とか、市民の皆さんのいろんなご意見を聴取することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて情報収集に関しては、今「通算6回」という表記があるのですが、作成してからもまた瀬田川を歩いておりますので、7回になります。実際に瀬田川を歩きながら一般の方とアンケートを記入いただくようにどんどんお話をさせてもらっていたのですが、なかなか苦戦するところが続いております。 ・そして、『瀬田川に行ってみよう』と思えるようなイベント開催の模索に関しては、マザーレイクアトラクションでもコネクションづくりは行えたのですが、イベントをやってみようというような団体さんがまだ見つかっていない状態です。継続しているところなどに顔を出して接点を持つことが大事なかと考えております。 ・「活動対象に対する関係づくりの途中経過」なんですけれども、清掃活動に関しましては、大津市の公園緑地課さんや北部クリーンセンターさんとうまく関係ができたかなと考えております。また、清掃活動のチラシを作成してTwitterに載せることで約9,000回の表示をいただくことができました。そこに関しては、より多くの方に、いろんな方に見ていただけたのかなと考えております。 ・続きまして、情報収集です。こちらは、不特定多数の方になるのですが、現地を歩くことによっていろんな方とコミュニケーションを図ることができたかなと考えております。ごみ拾いしながらなんですけれども、お声がけをいただくことも多かったのです。やっぱり現地を歩くことが大事なというふうには考えております。 ・最後に『瀬田川に行ってみよう』と思えるようなイベント開催の模索なんですけれども、こちらは、大津商工会議所青年部の森さんという先ほどのマザーレイクアトラクションの運営の方ですとか、釣具メーカー3社、そしてNPOの水辺基盤協会さん、あとは市議会議員の方ともコネクションができたかなというふうに考えておりますので、非常によい結果になっているかとは思いますが。 ・以上で報告を終わります。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ただいま報告いただきましたが、質問あるいはご意見等ありましたら、お伺いいたします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> ・ご報告ありがとうございます。 ・2点質問させていただきたいのですが、1点目は、2番目の瀬田川の声聴くという活動でアンケートがなかなか集まらないということなのですが、アンケートにこだわる理由は何ですか。

R 西島	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に記入いただくことで、本心というか、思いが出てくるのかなというところがあるのですが、アンケートのほうも性別や年齢といった簡単な設問から始まって、「その他ご意見、瀬田川への思い」というところを空欄にしています。ここにしっかり記入いただけることがベストかなと思っておりまして、それでアンケートで直接書いていただきたいという思いがあって活動しております。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙のアンケートも見せていただいているのですが、その趣旨であれば、ヒアリングのほうがいいのではと個人的には思います。というのは、レンジャーとしてコミュニケーションの中で情報を得ていくという関係づくりも大事だと思いますし、私は研究でよくアンケートをするのですが、統計解析に持ち込まないのであれば、やっぱり深い情報を得ようと思ったら、ヒアリングのほうが適切なんじゃないかなというふうに思います。 ・別の点でもう一個、その下の「瀬田川に行ってみよう」のイベントの開催についてなんですけど、こちらは釣り人の方も関係者で多かったということだったのですが、福西レンジャーとの情報共有はどれくらいされているのかということと活動の重なりがあるのかということをお教えいただけますか。
R 西島	<ul style="list-style-type: none"> ・福西レンジャーとは適宜情報共有はさせていただいているのですが、活動の重なりというのは、今のところは全くないかとは思っております。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。福西レンジャーもご事情はあるかと思うのですが、せっかくこれまで瀬田川で活動されてヒアリングなども実施されているので、同じ河川レンジャーということでそこで声を聴くのであれば、今まで取った声の引き継ぎですとか共有をした上で活動されたほうが内容は豊かになるかなと思いました。
R 西島	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。承知いたしました。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにいかがでしょうか。 ・はい、若公委員、どうぞ。
若公	<ul style="list-style-type: none"> ・私、西島さんの活動に参加できなくて、初めましてとなります。どうぞよろしくお願いいたします。 ・私も毎日瀬田川沿いを自転車で通勤しているのですが、瀬田川はすごく釣り人がたくさんいますし、もちろん河川もボートで利用されていますし、非常に利用者が多い河川ではあると思うのですが、ここからさらに何を指すのかというところが、河川事務所自身というか、私自身もまだイメージが湧いてないところがあるので、その辺りはいろんな声を聴いていただくのは物すごくありがたいと思っています。 ・ただ、マルシェやイベントをやるのがゴールみたいになると、「それは何のためのイベントだったかな」みたいなのが私も分からないとい

		うか、あれなので、西島さんが「こんなことかな」とイメージされていることがもしあれば。無理にじゃなくて結構なのですが、ちょっと資料の中からは読み取れなかったので、もし何かあれば、ぜひお聞かせいただければと思います。
R 西島		<ul style="list-style-type: none"> ・瀬田川を歩くと、例えば琵琶湖の湖岸に比べると、ごみは非常に少ないと思うのですが、逆に、そのきれいな状態を維持することが一番大切なと思っております。そういう意味で、ご意見を伺いながら、現状のきれいな瀬田川を維持するというのが一番の目的かなと私の中では思っております。
若公		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ありがとうございます。 ・そのためにどういうことをよりやったらいいかということについて引き続き事務所ともいろいろと意見交換しながら活動していただきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。 ・ちなみに、26ページの工程計画の最後のほうに「実施予定」と書いてあるのはイベントですか。
R 西島		<ul style="list-style-type: none"> ・こちらは、3月度も唐橋エリアで清掃活動をもう一回実施する予定でございますので、そちらの記載になります。
若公		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ぜひとも参加させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
R 西島		<ul style="list-style-type: none"> ・よろしくお願いします。ありがとうございます。
中谷		<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。・・・では、発表ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。 ・では、お待たせしました。野村レンジャー、お願いします。
R 野村		<ul style="list-style-type: none"> ・野村です。いつもありがとうございます。今までの活動についてご報告させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。 ・私は、行政と流域住民がともに川の姿を自分事として捉え、川を守り育てる意識と行動を引き出すことを目的に活動しております。 ・今年度は、子供たちの意識を育てることを目的とした「親子クラブ『瀬田川たんけんたい』」を立ち上げました。子供たちが瀬田川に関わる様々な価値ある体験を通して川のよさに気づき、愛着を持ち、川について語れるようになることを目指しています。そして、子供たちの発信を受けて、その思いが家庭や地域、学校に広がることを期待しています。 ・活動では、支援室や地域の方、そして資料などの情報をもとに、地域の自然環境や土木遺産、地元の先生など、適した資源を生かせるように努めてまいります。同時に、様々な方との関係づくりを進めています。 ・また、取組の効果を高めるために学校での学習との関連を整理していきたいと思っております。

- ・瀬田川には本当にたくさんの資源があります。様々なモノやコトと出会い、その魅力や価値を伝える方法を試行錯誤しています。
- ・まず、主な活動である瀬田川たんけんたいのこれまでの経過を説明させていただきます。
- ・その資源の価値が伝わるように、関係される方に協力依頼を行い、チラシを配布いたしました。ウォーターステーション琵琶のホームページでも掲載いただきました。協力いただいた事業所等は、このスライドのとおりです。
- ・こちらは募集のチラシです。
- ・次に、たんけんたいの活動内容です。7月末から2か月に1回、最終土曜日に活動しております。これは第1回の活動の様子です。川の安全講座、Eボートの体験、アクア琵琶の見学を行いました。河川事務所には、活動の開始時に、水辺の安全管理、洗堰の役割についての講義をいただきました。参加者の安全意識を高め、瀬田川の管理に関する理解を深めてもらうよい機会になったと思います。
- ・第2回の活動の様子です。参加者は、初めて見る鹿跳溪谷の景観に大変驚いておられました。講師の指導でポットホールのでき方を考えたり、石の種類を見分けたりしました。河原の石から実際に火花が飛ぶ様子を観察し、暮らしと石との深い関わりについても学ぶことができました。活動では、参加者みんなで掛け声をかけたり、見つけたものをお互いに見せ合ったりする活動を意図的に設定しています。今2回終わったのですけれども、子供たちが自発的にほかの参加者に話しかける様子も増えてきました。振り返りの時間には、それぞれに気がついたことを発言するようにしています。低学年の子供たちも、たどたどしいながら、自分の言葉でしっかり話せています。それぞれの発言に対してみんなで拍手をして、認め合える関係づくりに努めています。
- ・小学校での学習内容を規定している学習指導要領での扱いを整理することについてお話ししたいと思います。
- ・たんけんたいの活動で対象となる川について小学校でどのような教育が行われているのかを理解しておくことが有効であると感じています。このような意義と想定する対象者です。
- ・こちらは関連する法令です。
- ・学習指導要領の記述から抽出した内容がこちらになります。大きく関わっているのは、3年生から学習する社会科と理科です。また資料のほうでご覧ください。
- ・1・2年生で学習する生活科、5・6年生の家庭科にも関連する内容があります。図画工作科と道徳科については、全学年で関わりがあります。
- ・計画以外には、琵琶湖や瀬田川に生息する水草展をウォーターステーシ

ョンで行わせていただきました。瀬田川で水草の繁茂が話題になっていることを知り、住民の皆さんに関心を持っていただきたいと思いました。来られた方に水草の生態やおもしろさ、利用の仕方、それから瀬田川でも起こっている問題についてお話をしました。河川レンジャーの役割についても説明することができました。

- 関係づくりの途中経過についてお話しさせていただきます。
- まず参加者についてですが、参加動機を伺うと、子供と一緒に体験できるということが多数ありました。また、転勤でこちらに来た、あるいはこちらに住んでいても地域のことを知らなかったから参加したいと思ったとお話しになられていました。
- 保護者の方は、自分自身の川との関わりについて語られたり、子供の新たな一面を初めて知ったと話されたりしています。子供からは、学校では、こんなマニアックなとか、自分の好きなことについて話しくい、だからこの活動が好きなのだという声が聞かれています。たんけんたいの活動がこの子の世界を広げるきっかけとなり、居場所にもなれたらいいなというふうに思っております。
- この活動に関わってくださる方はスライドのとおりです。本当にたくさんの方とつながりをつくることができている、とてもうれしいなと思っています。最後のウォーターステーション琵琶の会（コハクチョウを愛する会）ですが、ここには「住民の方もぜひ参加したいけど、参加してもいいだろうか」という声も聞いています。
- 今の課題としていることについてお話しします。
- 講師を見つけることが大変難しいです。アンテナを高くして、いろんな方法で私が希望する方と出会いたいと思っています。また、自分もそうなれるように努力をしています。
- 課題②としては、現在は支援室に大変お世話になっていますが、徐々に私の協力者をつくって自立していかなければいけないなと思っています。支援室からレンジャートライアルに登録している大学生をご案内いただいているのですが、今のところ、参加は得られていません。今後は、大学のボランティアセンターなどで情報収集とコミュニケーションを図るなどして、大学生などが参加したくなる持続可能な仕組みや広報の仕方なども考えていかなければならないなと思っています。また、活動によっては相手方との調整に時間がかかることや、定員などに課題があることもあるため、受入れには検討が必要かなと思っています。
- これは委員の皆様をお願いしたいことです。春に大津市の学校にチラシの配布をお願いしたのですが、大津市等の後援を得ていないため、ことごとく断られてしまいました。来年もこの活動を継続したいと考えており、5月には市などに申請書を出す必要があります。早めにご承認

		<p>いただけると大変ありがたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、2つ目なのですが、参加者と何か物を食べるという活動については保険の範囲外とお聞きしています。11月25日に予定している3回目の活動ではシジミ掻き体験をします。今回はしませんが、セタシジミを実際に味わうことができれば、その価値は味覚を通して体の記憶に刻まれると思います。地域の魅力を感じるものとして食の体験は大変大きな意味を持つとされており、ぜひ検討していただきたいなと思っています。 ・工程については、おおむね計画どおりに実施できています。地域資源の調査については、瀬田川の兩岸をたどって利用状態をカウントし、気になったモノ・コトについて、その都度、支援室や地域の方にお話を聞いております。 ・以上で私の発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・報告ありがとうございました。 ・ただいまお話しいただきました件について、質問、その他ご意見等ありましたら、お伺いいたします。どなたからでも結構です。どうぞご発言ください。 ・はい、北井委員、どうぞ。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬田川たんけんたいの活動について、タイミング的に4月の早々に委員会を設定しにくいところがあって、おっしゃるとおり、後援等、年度当初から動きたいということとずれてくるというのは課題だなと認識します。ちょっと事務局に日程調整を急いでやってもらう必要があるのかなと思いますね。多分、年度末に向けて、市の後援申請する課の担当者と調整され、どういう出し方だとか、その辺の事前情報が大事かなと思いました。 ・瀬田川たんけんたいの運営についてちょっと伺いたかったのですが、PDFやパワポの資料にスタッフ募集も書いていらっしまったのですが、運営体制としては、今のところ野村レンジャー1人なのか、企画に参画される方がいらっしまうのかどうかというところをお願いします。
	R野村	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・支援室には本当に細やかにご示唆いただいています。活動当日もサポートしていただきますし、先ほど言いましたように、河川事務所さんにも本当に手厚いサポートをいただいておりますし、漁協さんとか、いろいろな地域団体の皆様にもお世話になっております。ですけれども、やっぱり私と志を同じくする仲間をできるだけつくっていきたいので、これからも探していきたいと思います。
	北井	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。サポートの立場で関わる人はいっぱいいらっしまうと思うのですが、例えば根木山レンジャーが野洲川でされている活動だと、レンジャーは一応任期がある活動ですし、コーディネーションという立場

		でもありますから、いなくなっても続く活動というのを結構皆さん意識されています。多分その部分に仲間づくりみたいなのが大事なのかなと思っていますので、運営と企画とを一緒にできる体制が整ってくるとういかなというふうに思いました。充実した内容でしてくださっているので、2月まで機会があったらまた情報をいただきたいと思っています。
	R野村	・ありがとうございます。
	中谷	・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。 ・はい、若公委員、どうぞ。
	若公	<ul style="list-style-type: none"> ・活動、お疲れさまです。私も初回だけ参加させていただいて、物すごく優しい語り口で子供に話しかけておられて、プロの人じゃないかなというふうにちょっと思いました。本当にありがとうございます。 ・今年初めてなのでそんなにすぐに持続可能性みたいな話というのはなかなか難しいと思うので、お嫌でなければ何年かやっていただきながらということだというふうに私は理解していますが、そういう意味で、大学のボランティアの方がいいのか。大学生はどうしても、ころころ変わっていくというのは言い方が悪いですが、学んで羽ばたかれていくので、地域の方がいいのかとか、そういうことを活動しながらぜひ一緒に考えていければと思っています。学生さんも誰でもいいというわけでもないと思うので、事務所も大学とのつながりがあるようでそんなにないのですが、もし何かご協力できることがあれば。例えば大学に講義に行くときにこういう活動の紹介をさせていただくとかということも含めて、いろいろとご相談できればなというふうに思っています。これはコメントです。 ・あと、市との関係は、今はもう既に市役所と関係を持たれていますか。
	R野村	・何回か電話をかけさせていただきまして教えてくださり、「ホームページのここを見たら分かるよ」とか言ってくださいました。大石コミュニティセンターさんは「失敗して学ぶんだ」というふうにかなり丁寧にお話を。「こうやって出せ」とか「ここが違うんだ」とか、いろいろ言ってくださいます。
	若公	・なるほど。とってもいい活動で、私が親だったらぜひ参加させたいなと多分思うので、逆に学校で配ったらちょっと集まり過ぎちゃって困っちゃうんじゃないかなというふうにも思いますけれども、その支援のアプローチも、「こういうことをやりました」と今年一連でやられたことを紙にして説明すると、絶対お断りされるような活動ではないと思います。そこは事務所も横で一緒にご協力させていただくと話が違ったりするかもしれないので、支援のアプローチの仕方は担当のほうとぜひご相談していただければと思います。

R 野村	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になります。ありがとうございます。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・ほかにいかがでしょうか。・・・ないようでしたら、今、野村さんから発表いただきましたが、ありがとうございます。また引き続きよろしくお願ひします。 ・では、今日欠席の福西レンジャーの報告を事務局からお願いします。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、資料-3の14ページに戻っていただきまして、福西レンジャーからいただいております中間報告を簡単に事務局から説明させていただきます。 ・まず、おわびがございます。テーマのところを事務局が書かせていただいたんですけども、水上レンジャーのテーマとなっております。福西レンジャーは「瀬田川を愛する人々が、安全・安楽に共存できる川づくり」というテーマで取り組まれております。失礼いたしました。 ・「実施目的」にビジョンが3つ書いてございますが、福西レンジャーは「瀬田川を利用する人々の想いを行政につなぎ、課題の解決方法を探る。」「瀬田川が地域住民と観光客の安全・安楽に過ごせる場所になるようゴミやマナーの面からの課題を把握し、住民や利用者と景観保全を図る仕組みを検討する。」「オオバナミズキンバイの生態を知り、実状を把握する。」、こういったビジョンで活動されております。 ・14ページの下の方から「今年度の成果目標とこれまでの達成度」ということで記載していただいております。 ・1つ目の「瀬田川利用者の実態とニーズの把握」というところでは、瀬田川を利用している地域住民の方に声かけを行って交流を図りました、名刺を50枚配布しましたということです。釣り人に対してはライフジャケットの着用の必要性について説明をしましたが、その場では返答いただけたが、着用については不明であるということで、後に書いてありますが、84名の方につけているかどうかを確認され、着用率は0%だったという結果になっています。それから、話がしやすいような工夫として、瀬田川での活動中に配布する、自身の名前が記載された啓発ステッカーを作ろうということで、現在、依頼中ということです。 ・次のページには「景観保全やマナー面から見た課題の把握」ということで、実際、7月に釣り人と瀬田川河川レンジャーとともに瀬田川で清掃活動を実施されております。こちらは参加者5名で、地元の方が来られなかったということもありまして、C評価だということを書かれております。また、質問調査を行い、適宜メモにして記録したというようなことを書いておられます。 ・3つ目の「オオバナミズキンバイの課題の把握」という点ではB評価ということで、瀬田川全域のオオバナミズキンバイの繁殖状況を把握され

		<p>て、マップを作り始めているということを聞いております。10月4日には滋賀県琵琶湖環境部の中井様にヒアリングに行かれて、そのマップをお見せしたところ、重点的に観察できているというような評価をいただけたと聞いております。また、瀬田川利用者にもオオバナミズキンバイを見ていただき、質問するというので、何名かの方には質問されているところがございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4番目の「瀬田川の利用者の把握と、行政等との共有」では、こういった委員会の場で共有していくということと、地元の方の声を聴いたり、参加者にアンケートをしておられまして、その中でB評価ということで書いておられます。 ・また、当初想定していなかった成果としては、ふだんから環境問題に取り組まれている団体や企業様からロゴの提供をいただけたということがございました。 ・それから、自ら評価できる点としましては、中間報告までに瀬田川全域のオオバナミズキンバイの繁殖状況を確認できたり、自身の活動を理解して応援してくれる団体様や企業様とつながることができたというようなことを書いてございます。 ・16ページから18ページにつきましてはその細かな内容になっておりますので、ここでは割愛させていただきます。 ・19ページ、20ページには工程計画と今後の予定を書かれておりますが、説明は省かせていただきます。 ・以上でございます。よろしくお願いいたします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・福西レンジャーの活動について、ただいま報告をいただきました。本人さんは欠席ですし、今ほど事務局から報告いただいたとおりですので、これはもうここまでとさせていただきます。よろしくお願いいたします。 ・では、一応、本日の議題にありますとおり、報告事項としてはレンジャーの中間活動報告までを終わらせていただきました。今の中で「特別これは言うておかなきゃ」みたいなことがありましたらお伺いいたしますが、よろしいでしょうか。 ・では、次に進ませていただきます。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. 審議事項 (1) 河川レンジャーの辞任について	中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・次は議題の4番目、審議事項です。これは、残念なことではありますが、河川レンジャーの辞任についてということで、事務局から説明をお願いします。
	△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしましたら、事務局から資料-4をもとに説明をさせていただきます。「河川レンジャーの辞任について」ということでございます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・11月2日に河川レンジャー1名の方から辞任の申出がございました。本日付で辞任届が提出されましたので、ここにご報告いたします。 ・2枚目に様式3の辞任届をおつけしております。河川レンジャーの方は福西レンジャーでございます。活動の継続が困難となった理由としては「家庭の事情と仕事の両立が困難となったため」というふうに書いていただいております。 ・この辞任につきましては、河川レンジャー制度運営委員会の規約の第4条第1項の1に河川レンジャーの任命及び解任を委員会で議決するとなっておりますので、この場にてご審議のほど、お願いいたします。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・説明ありがとうございました。 ・ただいま報告にありましたとおり、辞任の申出がありました。規約にもありますとおり、運営委員会の役割として任命並びに解任というのがあります。ということで、辞任届が出た以上、大変残念なことではあるんですが、これはもういかんともしがたいかなというふうにも思います。規約にあるとおり、届けが出たということで、解任するという決めにざるを得ないところなので、そのようにさせていただきます。 ・委員の皆様、そういうことになりましたが、よろしいですか。 ・では、そのように解任するというにいたします。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、承知いたしました。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、平山さん、どうぞ。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・辞任についてはそのように承認するというのでいいと思うんですけども、この理由の中でちょっと気になるのは、福西さん個別の事情なのか、ほかのレンジャーにも当てはまるような事例になり得るのかというところです。ここで話すべきか分からないんですけども、ちょっとその辺が気になっています。 ・というのは、レンジャーの体制とか制度とか、事務局との関わりの中で何か不都合が生じたのであれば、また同じような理由で退任される方がいるかもしれない。そうであれば、何かこちら側で変えたほうがいいことがあるかもしれないというところが少し気になるんです。 ・今日は多分時間もないのでこれをお伝えするというだけにとどめて、機会があれば、必要であれば、そういうことを話す機会を設けていただければと思います。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございました。 ・大変大事なところを指摘いただいたと思います。例えば、別の機会、クローズで議論するとか、そういうところを利用してということも考えられると思いますので、今後また事務局と相談して取扱いをさせてもらいたいと思います。よろしくをお願いします。
△中西	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、承知いたしました。ありがとうございました。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
4. 審議事項 (2) 規約・活動 要領の見直し について	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • では、続きまして審議事項の2番目、「規約・活動要領の見直しについて」ということで説明をお願いします。
	中西	<ul style="list-style-type: none"> • それでは、資料-5をご覧ください。A3交じりの資料でございます。「河川レンジャー制度運営委員会規約および河川レンジャー活動要領の改正(案)について」という資料となっております。 • まず、1枚めくっていただきまして、「規約および活動要領の改正について」ということで少し背景を書いてございます。 • 令和3年に淀川水系河川整備計画の見直しが行われました。この河川レンジャーの制度はその整備計画にのっとった事業になっておりますが、これまで約20年、この制度が運営されている中で、河川レンジャー制度の書き方につきましても実績を踏まえた文言に訂正が行われています。例えば、図-1の赤線を引いているところです。左側が元の整備計画、右側が変更の河川整備計画ですが、「河川レンジャーの充実」という中で、当初は「活動を試行する。」というものであったのが「活動等を実施する。」というふうに、正式にこの制度を位置づけていこうということで、これまでの試行の実績が実った形になっております。また、河川レンジャーの理念にもなっております「住民と河川管理者との橋渡し役となることも期待される。」という文章が「橋渡し役となっている。」というふうにもなっております。 • こういったことで河川レンジャー制度が定着している中で、少し規約のほうも見直していきたいというところがございます。 • 2ページには「今回こういうところを変えてはどうか」というところだけをかいつまんで書いております。左側には元の文、真ん中の列には今回改正しようとする文、右側はその理由ということで表にしております。 • まず、上の表-1の規約を見ていただきますと、前文には平成21年の河川整備計画云々とうたわれていたんですけども、今回、令和3年に見直されたということもありまして、令和3年8月に位置づけられた整備計画に基づいてするものというような意識でその部分を修正したいということでございます。 • それから、6条1項の委員の任期というところがございます。これまで「委員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。」ということで運営してまいりましたが、河川レンジャーの任期と照らし合わせますと、こちらは任命日から翌年度の3月31日ということで2年となっております。そのため、レンジャーさんと同等の期間とすることで継続的な指導が望めるのではないかとということで、活動の充実を図ることから、

		<p>委員の委嘱の任期につきましても委嘱日から2年間というふうに決めさせていただけないかというところでございます。ほかの河川事務所でのこういった委員会の任期も2年というのが多い傾向でございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • それから、表-2は河川レンジャー活動要領の改正でございます。 • 続けて説明させていただきますと、まず、第2条の定義でも平成21年の河川整備計画という文章があります。ここは、上と同様に、令和3年8月というふうに変更をしたいということでございます。 • それから、第5条第1項の河川レンジャーの任命及び解任というところで、河川レンジャーの任命基準について、今までは運営委員会の審査を経て任命されるというだけのものでもございましたが、この委員会でも「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」について議論しておりましたように、こういったところは必ず遵守していただきたいということから、ここに(2)の部分を追加したいということでございます。 • また、河川レンジャーの年齢制限というところで、これまで要領、規約ともに特に記述がなかったんですけれども、ホームページや案内のチラシには「年齢が満20歳以上」と書いたものがございますので、ここにも年齢を記載したいと。ただ、その20歳というのも、民法の改正で成人年齢が18歳に引き下げられておりますので、河川レンジャーも18歳以上でなれるよということで「成年であること」という文言を追加してはどうかというところでございます。 • 以上の点を規約と活動要領の改正というところでご審議いただきたいと思っております。 • 3ページ目以降はそれらを反映したとしての規約と活動要領の全体になっておりますので、参考までに見ていただきながら、ご議論、意見交換いただきたいと思っております。よろしくをお願いします。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • 説明ありがとうございました。 • ただいま説明のとおり、整備計画が変更されておりますので、妥当なところかなというふうに思います。 • あと、任期についてもレンジャーさんの任期と合わせていく方向。また、年度替わりとか計画の承認をすとか、そういう微妙な時期もありますので、いい方向に変わるのではないかとというふうにも思います。 • 今の改正の件について、委員の皆様から質問、ご意見等ありますでしょうか。 • はい、平山委員、どうぞ。
	平山	<ul style="list-style-type: none"> • 1点だけ。年齢制限について気になるんですけれども、これは成年以上でないと謝金などを支払えないということなのか、それを制限しないという余地もあるのかをまず確認させていただけますか。
	中谷	<ul style="list-style-type: none"> • そこは明確に決まってははいませんよね、たしか。

△安田	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。謝金自体につきましては、成年か未成年かという部分で何か制限があるというルール自体は特にございません。 ・これまで「満20歳」と書いていた考え方としては、未成年ではなくて成年を対象にしているという事務局としての理解ではあるんですけども、未成年なので謝金が支払えないということを理由にして「成年」と書いているわけでは特段ございません。なので、その「成年である」に加えて未成年も含むということについては余地のある部分ではございます。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・もう一点。淀川とか、ほかの河川レンジャーはそういうふうに年齢制限をされていますか。
△安田	<ul style="list-style-type: none"> ・すみません。ちょっと確認不足で私が十分把握できていないので、そこに関しては、ほかの各事務所も——こちらも淀川、猪名川、木津川の任期を例として挙げているんですけども、それぞれ各事務所で少し個性がございまして、もしかしたら未成年に対しても河川レンジャーを任せている事務所もあろうかとは思いますが、そこは宿題にさせていただいて、後日、結果を報告して委員の皆様と共有させていただきたいと思っております。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。 ・私個人的には、制限はあまりしないほうが基本的にはいいんじゃないかなというふうに思っています。例えば、地域の高校生でそういう活動をしたいという人が出てきたときに「制度上、できないんですよ」というふうになるのは残念かなと思いますので、特段理由がないのであれば、そこは制限しない方向でどうかなと思います。難しければ、今日決定しなくて保留にするというのもありかなと思いますが、ほかの皆様の見解をお伺いしたいです。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま指摘がありましたが、確かに高校生で魚の絵を描いて活躍しているというような人がいたりするので、ほかの事務所の例も調べていただいて。たちまち実態として次の委員会までにそういう方が多くなったりしたら、またそのときの議論ということになろうかと思うんですが、そういうところを調査していただいて、その上で決定するというようにさせていただいてよろしいですかね。
平山	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、いいです。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、若公委員、どうぞ。
若公	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事務所として特段こだわりがあるポイントじゃないので、基本的には、今、委員長がおまとめいただいた方向でさせていただきます。 ・逆に、ホームページに年齢を満20歳以上としていた根拠というか、理由というのが、もう分からんものは分からんということであれかもしれませんが

	<p>せんけど、ちょっと気になるところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それから、委員長おっしゃったとおり、最近は本当に高校生とか、何ならもっと下の中学生とかが物すごい多才で、いろんな発信もされているので、そういった可能性を摘み取りたいとは全く思っていないです。ただ一方で、レンジャーというのが、自らプレーヤーというよりは、一步引いてつなげていくみたいな役割というふうになったときに、そういうことを理解した上で入っていただくというのが——必ずしも未成年の方が適当じゃないとは思ってないですけど、その辺がもしかしたら20歳というところに込められているのかなというのをちょっと思ったりもしていますので、事務局のほうでいろいろ調べさせていただいて、また必要であれば、大分先になりますけれども、次回お諮りさせていただきたいと思います。その辺でもし何か知っていることがあれば、我々行政はこころ替わっていきますが、長くお務めいただいている委員の方もいらっしゃるのです、逆にご教示いただきたいというふうに思っております。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、ありがとうございます。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一点だけ出しておいてもいいですか。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、北井委員、どうぞ。
北井	<ul style="list-style-type: none"> ・今のに関連してですけど、河川レンジャーを任命するときに、単独行動をするというか、お一人で行動されることが多いこともあって、安全面どうこうというのが時々議論になることがあるんですね。そういう面も踏まえて成年の想定があったのかもしれないなとは思いますが、根拠として知っているわけではないです。今までそういうことも意識して任命のときの議論が起きたことがあったなということでもちょっと挙げておきます。 ・もう一つ、トライアルの話もちょっと出ていたので。成年どうこうをここの活動要領で変えるようだったら、トライアルのほうも、拡大してやっていただけるように間口を広くしておくという想定で、連動して変えられたほうがいいかなと思います。トライアルのほうももしかしたら向いているのかもしれないですけど、その辺りも規約改正とか活動要領改正のタイミングに合わせて整理できたらいいのではと思いました。
中谷	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘ありがとうございます。 ・そうしましたら、ただいま出た意見を踏まえまして、まずは調査をしていただき、その上でまた決めるべきところは決めていくと。 ・はい、若公委員、どうぞ。
若公	<ul style="list-style-type: none"> ・そうしますと、本日時点での結論としては、この「成年であること。」というのはペンディングにさせていただくと。まあ、ホームページの掲載をいきなり落とすのも微妙なので、取りあえず現状維持させていただいて、次回またお諮りするという形にさせていただきたいと思います。

	中谷	・では、事務局、そのように扱っていただきますようによろしくお願いたします。
	△中西	・はい、ありがとうございました。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
5. その他 (1) 傍聴者か らのご意見	中谷	・では、審議事項の議事が終わりましたので「その他」のところですが、傍聴の方がおられましたら。いかがでしょうか。
	△中西	・本日、委員、事務局以外の参加者は河川レンジャー4名ということで、傍聴の方はいらっしゃいません。
	中谷	・せっかくの機会ですので、「これだけは言っていこう」みたいなことがありましたらお伺いたしますが、よろしいですか。 ・では、ないようですので、私の役目はここまでとさせていただきます。事務局、後はよろしくお願いたします。

(太字：決定事項, R印：河川レンジャー, M印：レンジャーマネージャー, ○印：一般傍聴者, △印：事務局)

審議項目	発言者	発言要旨(発言順)
6. 閉会	△中西	・長時間にわたりまして、ご審議ありがとうございました。以上をもちまして、第70回河川レンジャー制度運営委員会を閉じさせていただきます。 ・次回委員会は2月下旬頃を予定しておりますので、また改めて日程調整をさせていただきます。 ・本日はどうもありがとうございました。